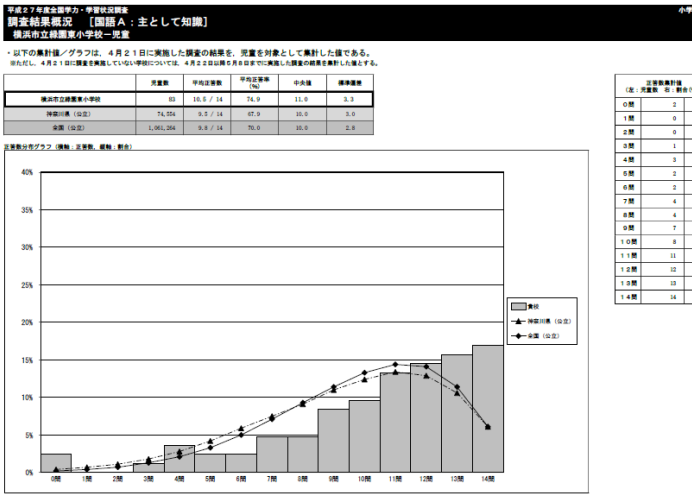
平成２７年度　全国学力・学習状況調査の結果について　平成２７年４月２１日実施
横浜市立緑園東小学校
〇教科に関する調査（国語・算数・理科）　Ａ問題（主に知識問題）　Ｂ問題（主に活用問題）
〇質問紙調査（学習・生活意識）

４月２１日に「全国学力・学習状況調査」（６年生実施）が実施され、８月末に調査結果報告が文科省より出されました。「全国学力・学習状況調査」は国の悉皆調査として「学力調査」「学習意識調査」「生活意識調査」の３つで構成されており、全国の小学６年生が参加しています。

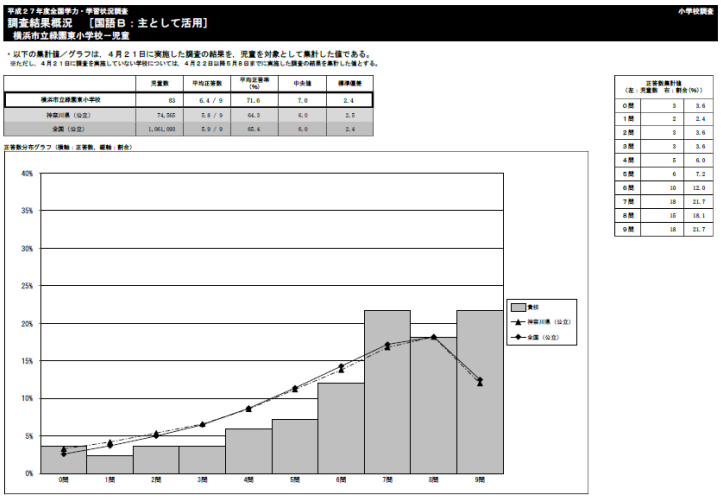
学校として、この調査をもとに、児童の実態をつかみ、今後の指導に生かしてまいります。

＜各教科の結果分布＞

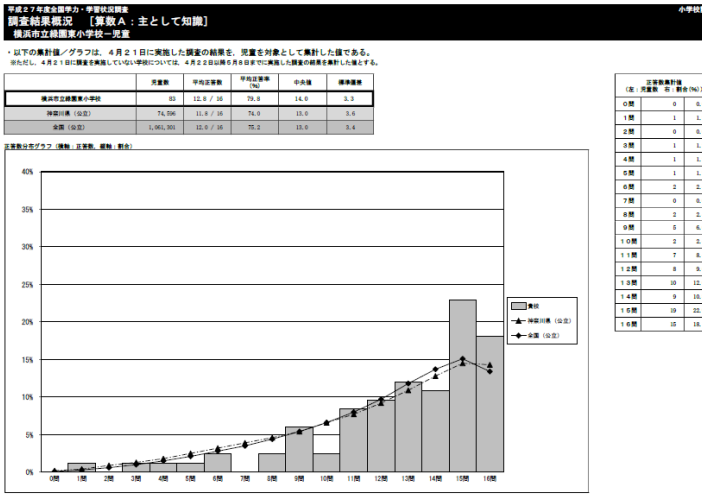
国語Ａ　知識



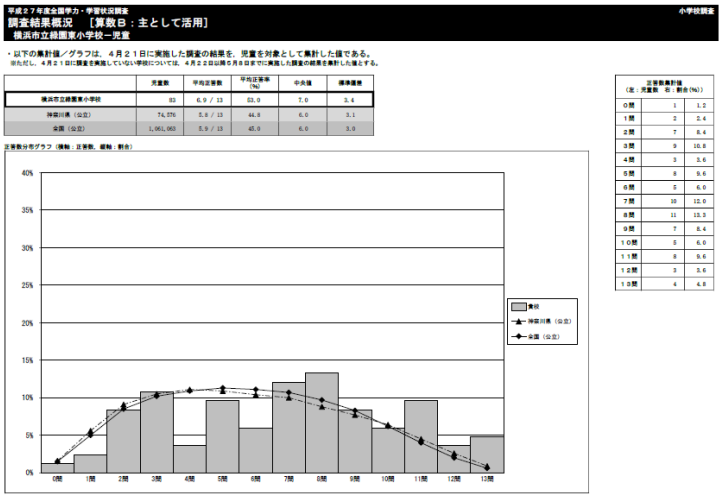
国語Ｂ　活用



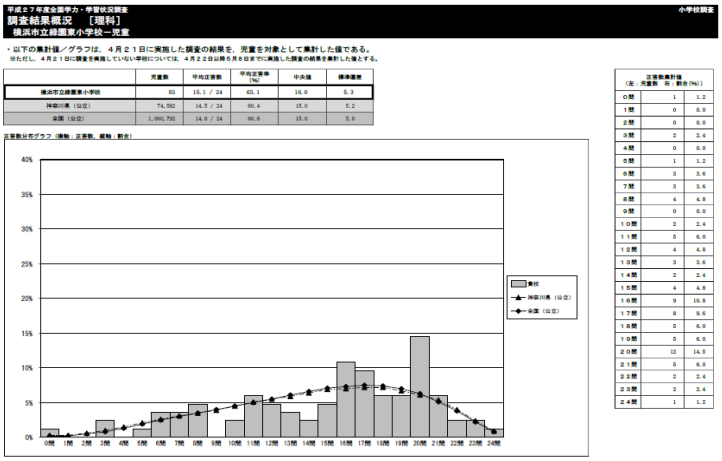
算数Ａ　知識



算数Ｂ　活用



理科



正答数集計値（左：児童数　右：割合(%)）		
0問	1	1.2
1問	0	0.0
2問	0	0.0
3問	2	2.4
4問	0	0.0
5問	1	1.2
6問	3	3.6
7問	3	3.6
8問	4	4.8
9問	0	0.0
10問	2	2.4
11問	5	6.0
12問	4	4.8
13問	3	3.6
14問	2	2.4
15問	4	4.8
16問	9	10.8
17問	8	9.6
18問	5	6.0
19問	5	6.0
20問	12	14.5
21問	5	6.0
22問	2	2.4
23問	2	2.4
24問	1	1.2

＜各教科の特徴＞

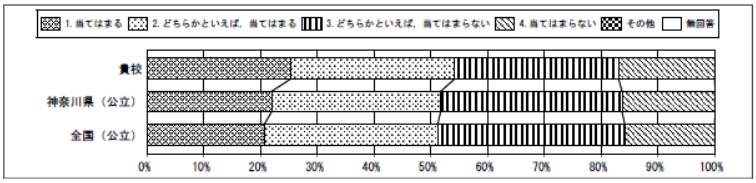
国語の知識と活用、算数の知識は正答率が高いが、その中にも正答率が低い層が一定数おり、本校の課題である学力層の幅の広さが顕著である。

算数の活用と理科は正答率が分散しており、個に応じた指導の一層の充実を図る必要がある。

＜児童質問紙より＞

友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。

質問番号	質問事項									
（７）	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	25.3	28.9	28.9	16.9					0.0	0.0
神奈川県（公立）	21.9	29.8	32.0	16.3					0.1	0.0
全国（公立）	20.6	30.6	33.0	15.8					0.0	0.0

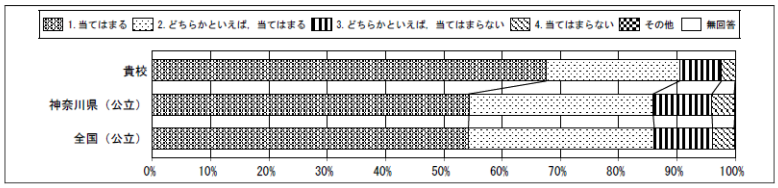


＜児童質問紙の特徴＞

友だち同士の学び合いを切にした学習の展開をしていることから、自然と発表の場面が増えた。また、聞き手も受容的な姿勢が見られることによって、話しやすい環境が整っていたからと考えられる。

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。

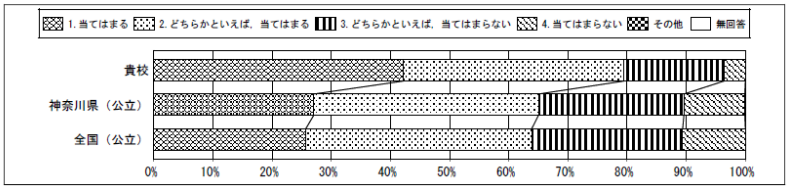
質問番号	質問事項									
（２６）	学級みんなで協力して何かをやり遂げ，うれしかったことがありますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	67.5	22.9	7.2	2.4					0.0	0.0
神奈川県（公立）	54.3	31.6	10.1	3.8					0.1	0.2
全国（公立）	54.2	31.9	10.0	3.7					0.0	0.2



日々の学習の中ではもちろんのこと、運動会・音楽祭・大縄集会・高学年の宿泊体験学習等、年間を通じて学級や学年での取組を設定しており、それに向けた活動に注力している結果だと考えられる。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

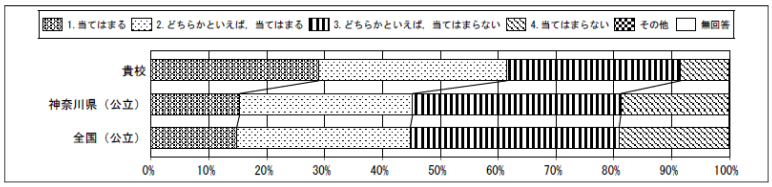
質問番号	質問事項									
（２８）	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	42.2	37.3	16.9	3.6					0.0	0.0
神奈川県（公立）	27.0	38.0	24.6	10.3					0.1	0.0
全国（公立）	25.7	38.2	25.5	10.6					0.0	0.0



地域の行事に積極的に参加することを通して、地域の一員としての意識が強くなっていっているとだろう。またそれとともに、学習の中で地域とのかかわりのある機会が多くあることも理由として考えられる。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

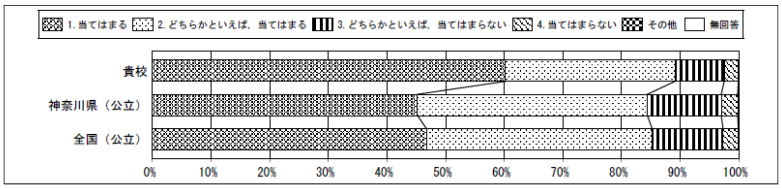
質問番号	質問事項									
（２９）	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	28.9	32.5	30.1	8.4					0.0	0.0
神奈川県（公立）	15.3	29.9	36.0	18.7					0.1	0.0
全国（公立）	14.8	30.0	36.1	19.0					0.0	0.0



今年の夏もたくさんの児童が地域の行事に参加した。地域や社会とのつながる場面が多くあった。学校側も、地域とのつながりを推奨してきた結果だろう。

５年生までに受けた授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

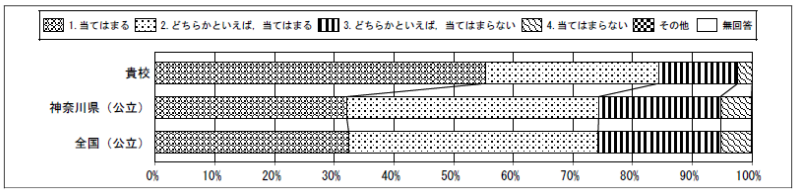
質問番号	質問事項									
（３９）	５年生までに受けた授業では，学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	60.2	28.9	8.4	2.4					0.0	0.0
神奈川県（公立）	45.2	39.2	12.6	2.8					0.1	0.1
全国（公立）	46.7	38.5	12.1	2.6					0.0	0.0



学習の中で児童が自ら学ぶために協働の場面を多く取り入れてきた。その機会を児童が活用できた結果が現れたのだろう。

５年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。

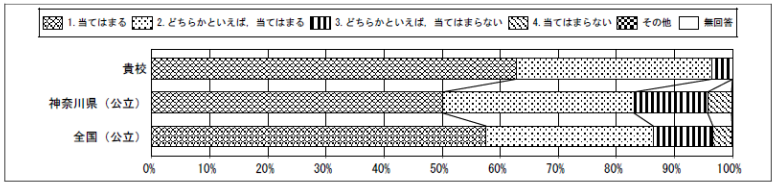
質問番号	質問事項									
（４０）	５年生までに受けた授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	55.4	28.9	13.3	2.4					0.0	0.0
神奈川県（公立）	32.1	42.2	20.4	5.2					0.1	0.1
全国（公立）	32.4	41.8	20.5	5.2					0.0	0.0



本校が取り組んできた研究課題である「自分の思いをもち互いの思いを認め合いながら、主体的に考えを深める子の育成」から導き出される課題とそれに向けた解決型の学習は子どもたちにとって主体的・協働的に学んでいるという実感があったのだろう。

５年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

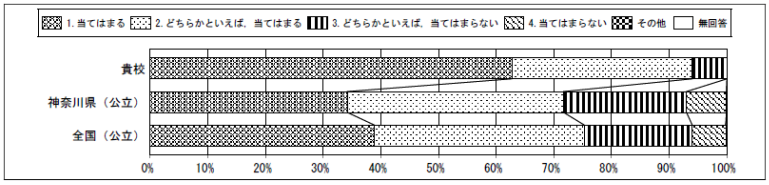
質問番号	質問事項									
（４１）	５年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	62.7	33.7	3.6	0.0					0.0	0.0
神奈川県（公立）	50.1	32.9	12.7	4.1					0.1	0.1
全国（公立）	57.5	28.8	10.3	3.3					0.1	0.0



毎時間の学習のめあてを把握することと振り返りをすることにより、毎時間の中で児童が何を達成すればよいかがはっきりと意識しながら学習を進めることができる。このことをねらって本校では学習のめあてを意識した学習展開を計画した。

５年生までに受けた授業の最後に振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

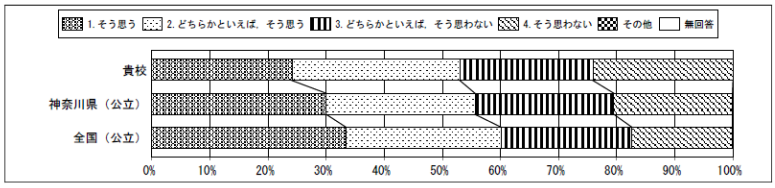
質問番号	質問事項									
（４２）	５年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	62.7	31.3	6.0	0.0					0.0	0.0
神奈川県（公立）	34.2	37.5	21.3	6.9					0.1	0.1
全国（公立）	38.9	36.4	18.7	5.8					0.0	0.1



学習の中のPDCAサイクルを意識した授業設計ができてきたことがうかがえる。また、振り返りにより児童が客観的に自分の到達度を判断（メタ認知）することができた。またこれは、教師にとって児童の理解の具合を把握することができるという効果もあった。

４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。

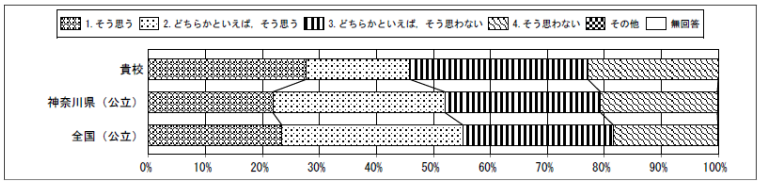
質問番号	質問事項									
（４４）	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	24.1	28.9	22.9	24.1					0.0	0.0
神奈川県（公立）	30.0	25.6	23.9	20.4					0.1	0.1
全国（公立）	33.4	26.7	22.5	17.3					0.1	0.1



書くことでの振り返りによって、書くことへの抵抗感を少なくしていることが分かった。また、紙に何を書けばよいかが分かっているので、書きやすくなっているのだろう。

学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。

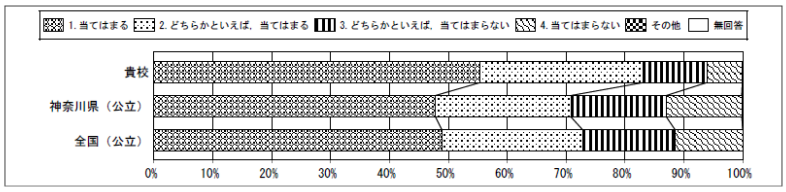
質問番号	質問事項									
（４５）	学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	27.7	18.1	31.3	22.9					0.0	0.0
神奈川県（公立）	21.8	30.2	27.3	20.5					0.1	0.1
全国（公立）	23.4	31.8	26.4	18.3					0.1	0.1



協働的な学習の機会を多く持つことによって、一人ひとりの発表の機会が増えたことが児童が他の人へ説明することに慣れたのだろう。また、発表する前にしばしば自分の伝えたいことをまとめる作業が書くことへの難しさを少なくしているのだろう。

読書は好きですか。

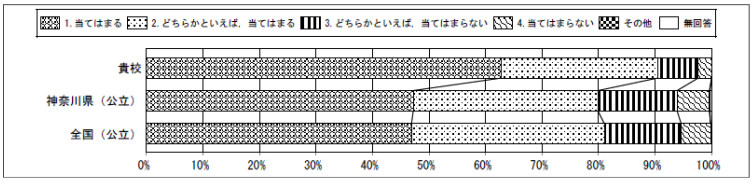
質問番号	質問事項									
（５１）	読書は好きですか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	55.4	27.7	10.8	6.0					0.0	0.0
神奈川県（公立）	47.8	23.0	16.2	12.8					0.1	0.1
全国（公立）	48.9	23.9	15.7	11.5					0.0	0.1



年間を通じて様々な言語活動を行い、また、学校司書との連携をすることで図書にふれる機会とその質が向上した。このことが、児童の読書好きにつながったのだろう。

算数の授業はよく分かりますか。

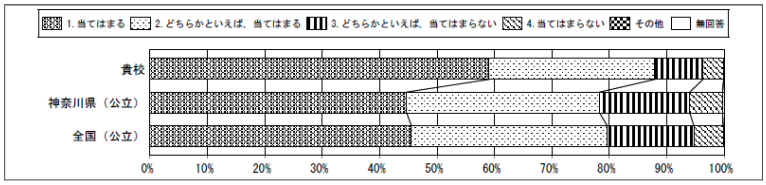
質問番号	質問事項									
（６０）	算数の授業の内容はよく分かりますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	62.7	27.7	7.2	2.4					0.0	0.0
神奈川県（公立）	47.2	32.7	14.0	5.7					0.1	0.3
全国（公立）	46.9	34.1	13.6	5.2					0.0	0.1



習熟度別学習によって、どの子にとっても無理なく、自然な形で学習できる環境とその手だてが整ってきた結果が、分かりやすさにつながったのだろう。

算数の問題の解き方が分からない時は、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

質問番号	質問事項									
（６２）	算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	59.0	28.9	8.4	3.6					0.0	0.0
神奈川県（公立）	44.7	33.6	15.7	5.7					0.0	0.3
全国（公立）	45.5	34.1	15.1	5.1					0.0	0.1



学習形態を一人の時、数人の時、全体の時というように分けることで、一人のときには自分で問題に注力する場面があり、複数の時には他の友だちの考え方を知ることで「考えのヒント」を得、次に生かせたことが、考え続ける姿勢につながったのだろう。

＜本校の今後の具体的な方策＞

手だて①　「子ども司会型学習」
手だて②　「めあてとふりかえり」
手だて③　「協働の学習スタイル」
手だて④　「学校図書館と司書連携」
手だて⑤　「個に応じた学習の設定」
手だて⑥　「算数科を中心とした習熟度別学習」
手だて⑦　「協働学習による話し合いの充実」
手だて⑧　「個の体験を通した学習の充実」

＜児童の思考力・判断力・表現力を向上させるため＞

・子どもが主体的・協働的に学習に取り組む手だて
・幅広い学力層に応じた指導の手立て

を講じていきます。